様式第１号

# 事務事業評価表（一般事業）

| 評価対象年度 | 平成　24　年度 |
|---|---|
| １次評価日（主幹等） | 25 年 3 月 31 日 |
| ２次評価日（課長等） | 25 年 5 月 31 日 |

| １ 事業名 | 包括的支援事業 | コード | 63306 |
|---|---|---|---|

| ２ 担当部課 | 部等 | 健康福祉部 | 課等 | 介護福祉課 | 作成者 | 福澤　武雄 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| ３ 事業概要 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目的体系 | 基本目標 | ともに支えあい、健やかに暮らせるまち | | |
| | 政　策 | 福祉の充実 | 施　策 | 高齢者福祉の推進 |
| 予算科目 | | 包括的支援事業費 | 業務委託 | 一部委託 |
| 実施義務 | | あり（義務的・標準的事業） | 国県補助 | あり |
| 根拠法令 | | 介護保険法 | | |

## ●事業の内容（DO）

### ４ 事業の目的

＊誰のために、どのような状態にしたいのか

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、状況の変化に応じたケアマネジメントを行い、地域の関係機関等と連携し、必要な相談、支援を行う。

### ５ 事業の実施内容

＊24年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

○介護予防ケアマネジメント
　要支援者及び二次予防事業対象者に対して、重症化防止を目的に課題分析、ケアプラン作成を行った。
・予防給付受給者数　２７５人（うち事業者委託数　１００人）
○ケアマネジメント研究部会
　岡谷市を営業拠点とする事業者の介護支援相談員を対象に、情報提供・調査等を目的に開催した。
・開催数　８回
○サービス事業者連絡会
　介護サービス提供事業者を対象に、情報提供・情報交換の場を提供し、サービスの質の向上に努めた。
・開催数　１１回
○総合相談
　窓口等で介護等広く市民の相談に応じ、適切な支援へつなげるとともに、高齢者や家族の状況等の実態把握に努めた。
・件数　２，５７２件
○権利擁護
・高齢者の権利と財産を守る相談日を毎月１回開催した。　相談者　３３人
・高齢者の虐待に関する状況　通報　１０件
○成年後見制度学習会
「今から考えよう！あなたのこれからのこと　～自分自身を守るために～」
・期日　　平成２５年２月１２日
・講師　　戸田雅博氏（リーガルサポートながの支部長）
・参加者　１４０人

| 前年度の課題への対応 | 特になし |
|---|---|

### ６ 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

| 区　分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度（見込み） |
|---|---|---|---|---|
| ① 活動指標（指標名） | 介護予防等の事業件数 | | | 単位：事業 |
| 実績値 | 6 | 6 | 6 | |
| ＊指標の説明 | 包括的ケアマネジメントに関わる事業件数 | | | |
| ② 成果指標（指標名） | 介護予防ケアプラン等の作成件数 | | | 単位：件 |
| 目標値 | 443 | 450 | 450 | 450 |
| 実績値 | 260 | 272 | 275 | |
| 達成度 | 58.7% | 60.4% | 61.1% | |
| ＊指標の説明 | 特定高齢者・要支援者に対するプラン作成件数 | | | |
| ＊目標値の設定方法の説明 | 高齢者人口の３％ | | | |

### ７ コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

| 区　分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度（見込み） |
|---|---|---|---|---|
| ① 直接事業費 | 13,922,683 | 15,445,240 | 14,400,776 | 14,774,000 |
| 経常経費 | 13,922,683 | 15,445,240 | 14,400,776 | 14,774,000 |
| 臨時的経費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ＊臨時的経費の説明 | | | | |

| 区　分 | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度(見込み) |
|---|---|---|---|---|---|
| ② 人件費 | | 29,600,000 | 24,400,000 | 17,200,000 | 17,200,000 |
| | 正規職員の人数（人） | 3.70 | 3.05 | 2.15 | 2.15 |
| ③ 合計コスト（①＋②） | | 43,522,683 | 39,845,240 | 31,600,776 | 31,974,000 |
| | 前年度比 | | 91.6% | 79.3% | 101.2% |
| | 財源内訳 一般財源 | 23,994,683 | 17,185,240 | 6,913,776 | 4,049,000 |
| | 財源内訳 特定財源 | 19,528,000 | 22,660,000 | 24,687,000 | 27,925,000 |
| | ＊特定財源の説明 | 諏訪広域連合地域支援事業委託金 | | | |
| ④ 活動一単位あたりコスト | | 7,253,781 | 6,640,873 | 5,266,796 | |
| | 前年度比 | | 91.6% | 79.3% | |
| ⑤ コストに関する補足説明 | | 特になし | | | |

## ●事業の評価（CHECK）

### 8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

| 評価項目 | はい | いいえ |
|---|---|---|
| ① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。 | 1 | |
| ② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。 | 1 | |
| ③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。 | 1 | |
| ④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。 | 1 | |
| ⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。 | 1 | |

### 9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　標準**

| 評価項目 | はい | いいえ |
|---|---|---|
| ① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。 | 1 | |
| ② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。 | 1 | |
| ③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。 | 1 | |
| ④ この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　101.1% | 1 | |
| ⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　61.1% | | 0 |

## ●改善の内容（ACTION）

### 10 具体的な課題と改善

| | |
|---|---|
| 課題 | （少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること）<br>特になし |
| 改善方法 | （上記の課題をふまえて25年度以降に実施する、具体的な改善の内容）<br>特になし |
| 改善開始時期 | |

## ●次年度の計画（PLAN）

| 11 次年度の方針 | 継続して実施 | 12 施策評価による25年度の優先度<br>*H23年度施策評価表より転記すること | B |
|---|---|---|---|